

わが子に必要な力とは

2011年度に
小学校へ入学した子どもの**65%**は、
大学卒業時に今は存在しない職業に就く

(ニューヨーク市立大学 キャシー・デビッドソン教授)



[1時間目]

社会 ----- P.6



法政大学
キャリアデザイン学部 教授
田中 研之輔先生

2016年にGDP世界**第4位**の日本は、
2030年予測ではインドネシアにほぼ並ばれ、
2050年には世界**第8位**に。

(PwC調査レポート「2050年の世界」(2017.2発表)より)

[2時間目]

教育・学力 ----- P.9



独立行政法人大学入試センター
試験・研究統括補佐官 (兼)審議役
白井 俊氏

んな姿になっているのだろう?

世界時価総額ランキング上位50社に
ランクインしている日本企業は、
平成元年**32社** → 平成30年**1社**のみ

(『週刊ダイヤモンド』2018年8月25日号より)

[3時間目]

高校教育 ----- P.12



大妻嵐山中学・高校
校長
真下 峯子先生

大学入試改革はいいけど、
何でよりによって今…。

うちの子
YouTuberになりたいって、
本気がしら…。

Allに仕事奪われるって、
どこまで本当なの？



保護者のための特別授業

15年後の社会で

ここに挙げたように、世の中は大きく変化しつつあり、想像を超えた未来が子どもたちを待ち受けています。15年後、わが子はどこで何をしているでしょうか？

社会の変化に伴い、日本の教育や学力観は、今、大きく変わろうとしています。大学入試改革に焦点が当てられがちですが、高校教育も大学教育も既に変わりつつあります。大切なのは、目先の変化にとらわれないこと。これからの社会で求められる力が変わるからその変化なのです。保護者の皆さまに、「何が変わるのか」だけでなく、「なぜ・何のために変わるのか」という本質をお伝えしたい。そして、将来、わが子にどんな力が必要になるのか、そのためにはどんな準備が必要なのか、という大きな視点でわが子の進路を考えるきっかけにしたい。そんな思いを込めて特別授業を企画しました。

欲を言えばきりがありませんが、わが子が自立して幸せな人生を歩んでいること。それが、多くの保護者の究極の望みではないでしょうか。わが子が、時代の変化に翻弄されず、しなやかに自由に幸せに、蝶々のように羽ばたく姿をイメージしながら、読み進めてください。

65歳以上が人口の50%を超える

市区町村の割合は、

2015年**0.9%** → 2045年**27.6%**に増加。

(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」より)

[4時間目]

大学教育 ----- P.15



進路づくりの講師・
高大共創コーディネーター
倉部史記氏

わが子が活躍する社会はど

10～20年後には、

日本の労働人口の**約49%**が
人工知能やロボットなどにより代替可能に

(野村総合研究所 2015年12月発表)

[5時間目]

保護者会 ----- P.19



中村中学・高校
キャリアコンサルタント
永井哲明先生

こういう時代だからこそ、
公務員がいいんじゃないの？

そうは言っても、
やっぱりいい大学に行けば
就職に有利なんだろう？

